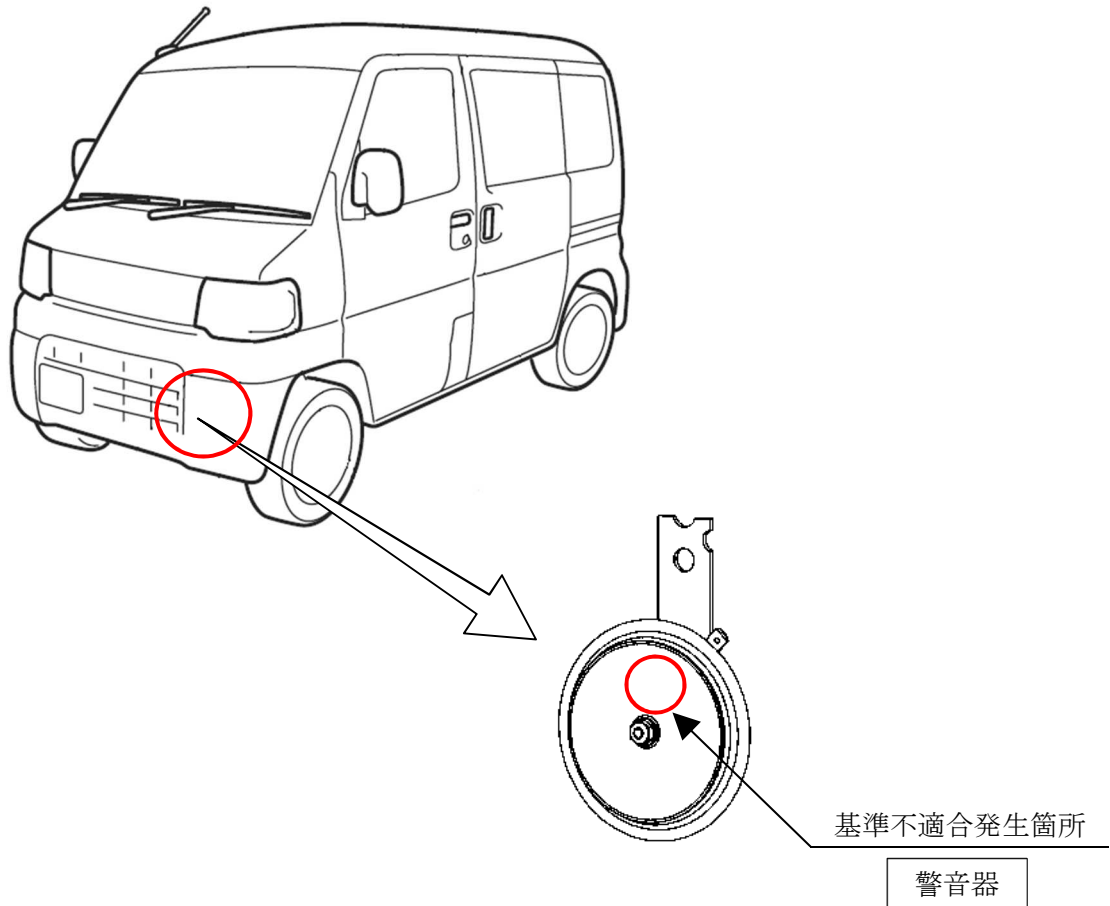


改善箇所説明図



警音器において、内部の電気接点材料が不適切なため、繰り返し被水すると内部電気接点に酸化皮膜が生成され、導通不良を起こすことがある。そのため、警音器が鳴らなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、警音器を対策品と交換する。

注：図中の 内は、交換する部品を示す。

識別：運転者席側ドアチェッカーのヒンジにあるピン頭部(車両下側)に、白または黄色のペイントを塗布する。